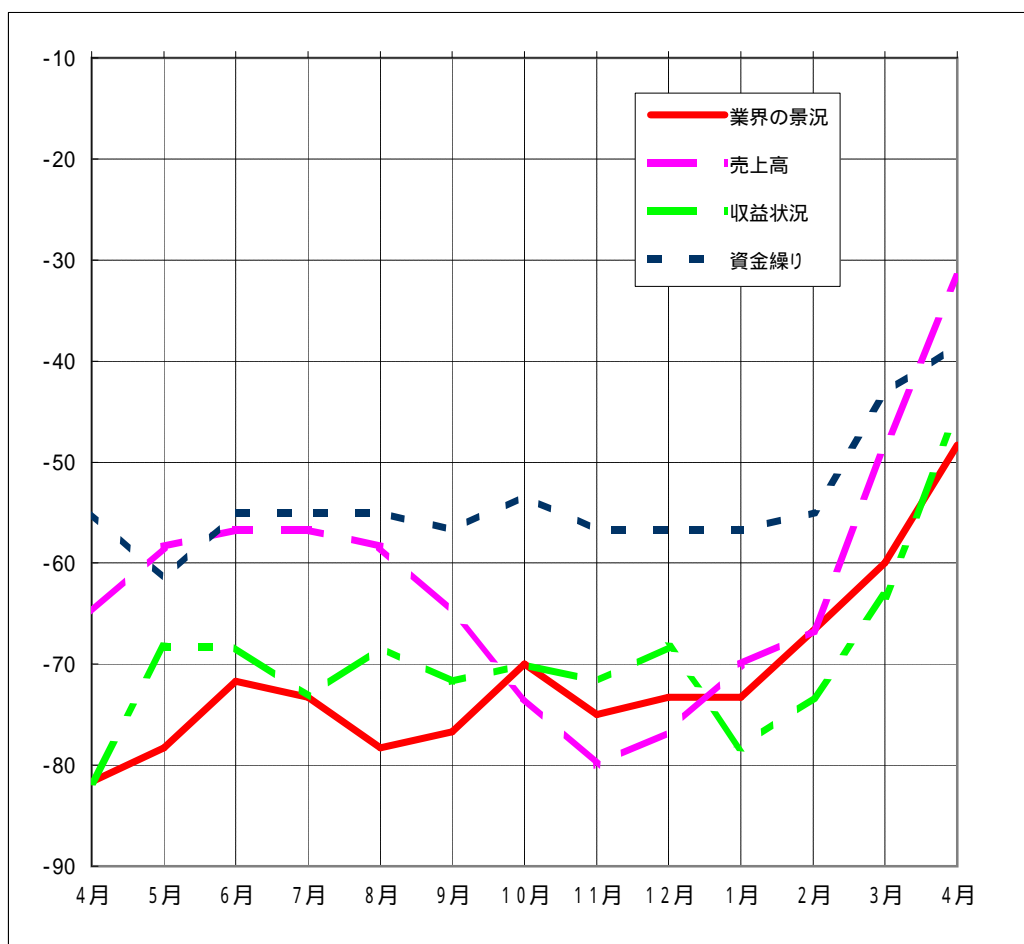


## 業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成21年4月～平成22年4月

単位:ポイント



	H21						H22						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
業界の景況	-81.7	-78.3	-71.7	-73.3	-78.3	-76.7	-70.0	-75.0	-73.3	-73.3	-66.7	-60.0	-48.3
売上高	-65.0	-58.3	-56.7	-56.7	-58.3	-65.0	-73.3	-80.0	-76.7	-70.0	-66.7	-48.3	-31.7
収益状況	-81.7	-68.3	-68.3	-73.3	-68.3	-71.7	-70.0	-71.7	-68.3	-78.3	-73.3	-63.3	-45.0
資金繰り	-55.0	-61.7	-55.0	-55.0	-55.0	-56.7	-53.3	-56.7	-56.7	-56.7	-55.0	-43.3	-38.3

4月のDI値は前年同月に比べ、全項目が3ヶ月続けて改善した。「業界の景況」DI値は33.4ポイント、「売上高」DI値は33.3ポイント、「収益状況」DI値は36.7ポイント、「資金繰り」DI値は16.7ポイントとそれぞれ改善した。改善度合いについては非製造業よりも製造業の方が大きく、また、大方の業種において、持ち直しの傾向は見られるものの、人員設備の過剰感は依然強い。価格交渉力の弱さから原材料の上昇は業績圧迫要因となっており、消費マインドも固いなど、なお厳しい状況が続いている。

組合の特記事項からは、鉄鋼・金属・一般機器製造業から受注の緩やかな回復が見られるという声が聞かれた。しかしそれ以外の業種では、若干の持ち直し傾向が見られるものの価格競争や需要の低下により厳しさは変わらないという声が聞かれた。